

私と息子と愛媛FC

私は片手1つで"息子を育てています。
息子には、ガマンさせず、やりたい事をさせた
思いから仕事、仕事の毎日を送っている。
仕事も遅く、リ帰ってきてもつかれてお
息子の言語など聞く時間なく息子には
さびしい思いをさせてしまっている。
そんな日々の中、愛媛FCの開幕単体のエスコートキッズを
息子がすることになった。
私は、たまたま休日であったため、
何気なく連れて行ってもらった。
スタジアムに行くのも学生の時から
行ったこともなかった。
スタジアムでは、オレンジ色に染まってお
なぜか胸がドキドキしたのを覚えている。
息子は少し緊張した顔で"エスコートキッズ"とい
う大役をおえた。
"このあとの試合やるけん、一緒に行くや"と
息子に誘われ、スタジアム内で"試合"を見た。
サポーターというものを、実物をはじめて見た。
熱気がおどく伝わってきた。
初めての息子とのサッカー観戦は、息子に1つ
近付き、息子の話を聞き、息子の笑顔を目撃した
日だった。
として、今まで1人にしてきた時間と取り戻すように、

ホームで言試合のある日は、息子と亀貝戦に行っている。

馬車場からスタジアムまでの坂道、息子との愛媛FCについて話せる、おたが"か"共有する時間、同じ趣味ができた。

息子との時間をあたえてくれた愛媛FCに感謝

愛媛県松山市、女子、31才、愛媛FC観戦歴半年